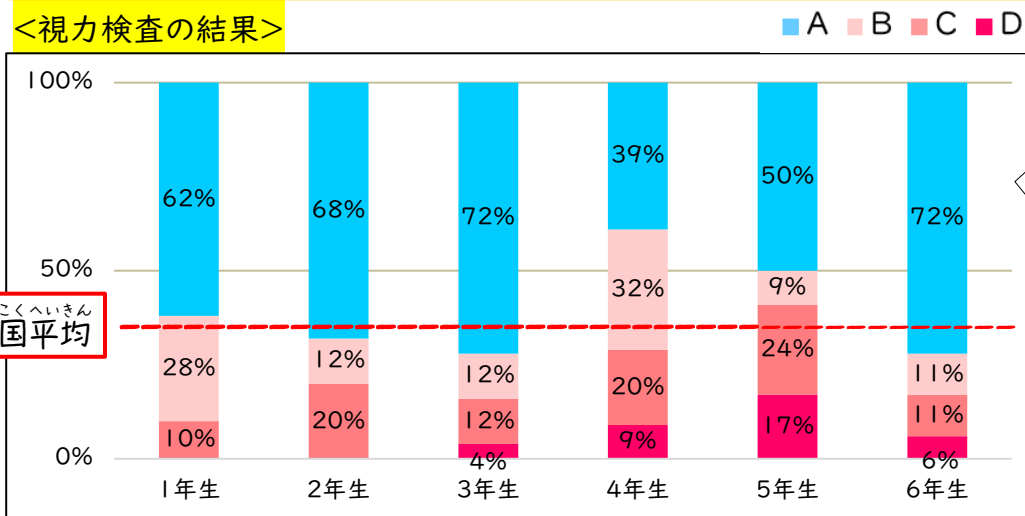


保護者の皆様へ

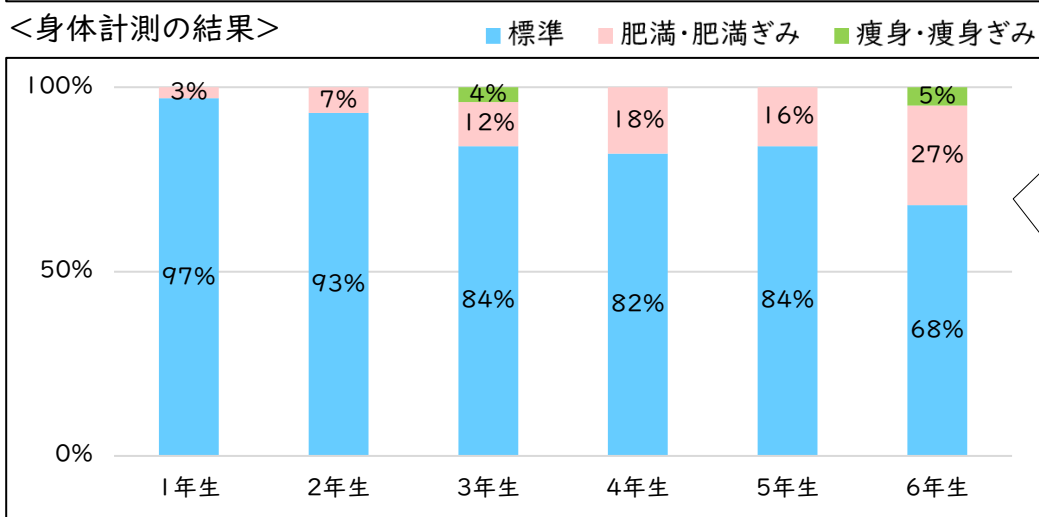
R7健康診断結果についてお知らせいたします。

<視力検査の結果>



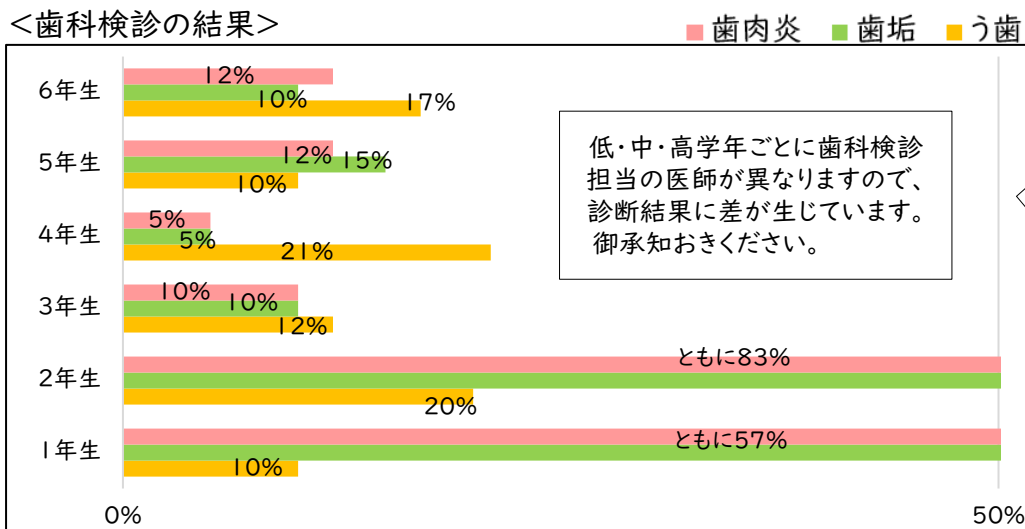
本校児童の裸眼視力1.0未満の割合(B・C・D)は、42%です。全国平均値(R6)は、37%であり、本校は、全国平均を5%上回っている現状です。学年別グラフを見ると、1・4・5年生の視力低下の割合が多いことがわかります。

<身体計測の結果>



R6年度と比較すると、「肥満」「痩身」の割合がともに減少し、「標準」の割合が大幅に増加しています。学年別グラフを見ると、学年が上がるにつれて「肥満」の割合が増加しているようです。「肥満」の割合は、男女ともに9歳から12歳が最も高くなる傾向です。(R6全国保健統計調査より)

<歯科検診の結果>



低・中・高学年ごとに歯科検診担当の医師が異なりますので、診断結果に差が生じています。御承知おきください。

グラフから、う歯保有児童の割合は、どの学年においても1~2割いる状況ですが、全国平均値(R6)の4割以下を大きく下回っています。前年度に引き続き、歯科担当医より、本校児童の歯と口の健康状態が優秀であるとのお言葉をいただきました。

日光小学校児童の健康課題について

視力の低下 裸眼視力1.0未満の割合が高いです

「目の健康」に関する健康教育を行い、視力低下の予防活動を推進します。



日光小児童の「目の健康」を守るため、保健給食委員会の児童の皆さんが学級へ訪問し、【目の健康体操】を教えてくださいました。

体操だけではなく、視力検査の結果や「目の健康」を考えた生活についても発表してくれました。



本校で取り扱っている【目の健康体操】の内容は、福井県鯖江市くめがねのまちの目のけんこう体操を引用させていただいています。歌とリズムに合わせて楽しく体操ができます。(ゆっくりバージョンもあります) ※事前に鯖江市健康づくり課に使用許可をいただいています。



QRコードを読み取り、御家庭でも実践してみてください♪

歯科校医よりいただいた指導、助言内容について

- う歯のある児童が少なかった。
- 中～高学年ではあるが、歯垢の付着している児童が少なかった。
- 歯垢や歯石のある児童は、丁寧なブラッシングが必要である。
- 歯垢に色素沈着のみられたため、丁寧なブラッシングが必要である。
- 歯に黒い汚れがある場合、コーラ等の飲料による着色が原因で起こる。いつもより多めに歯みがき粉を付けてブラッシングすると良い。
- 要注意乳歯が有ることでブラッシングが難しくなる。簡単にブラッシングができるよう、受診して治療を行い、歯列を整えてあげた方がよい。
- ブラッシングは、どの歯もまんべんなく適度な強さ(150g)でみがく。
- 3年生までは保護者による仕上げ磨きを1日1回はしてもらえるとよい。
- COは受診が必要である。う歯が深く、よく診ないと分からない場合もあるため、受診をして確認をしてもらった方がよい。

CO(むし歯と疑わしい特徴がある要観察歯のこと)の割合は、低学年は2割、中・高学年は3~4割いる状況でした。【歯・口の健康診断結果】を御確認いただき、歯科医院の受診に御協力ください。

 目の健康体操の様子です。

